

平成 22 年 1 月 12 日

各 位

会社名 株式会社ベスト電器  
代表者名 代表取締役社長 深澤 政和  
(コード番号 8175 東証第 1 部、福証)  
問合せ先 執行役員総務部長 森 良章  
( TEL. 092 - 643 - 6828 )

業績予想の修正、特別損失の計上ならびに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 10 月 13 日に公表した平成 22 年 2 月期（平成 21 年 3 月 1 日～平成 22 年 2 月 28 日）の業績予想の修正、特別損失の計上ならびに配当予想の修正を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 2 月期業績予想の修正について

【連結】

通期（平成 21 年 3 月 1 日～平成 22 年 2 月 28 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	350,400	60	30	1,370	15.21
今回発表予想 (B)	344,700	4,530	5,230	30,180	335.12
増減額 (B - A)	5,700	4,470	5,200	28,810	—
増減率 (%)	1.6%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 2 月期)	371,900	894	937	3,010	34.29

【個別】

通期（平成 21 年 3 月 1 日～平成 22 年 2 月 28 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	301,400	900	1,110	180	2.00
今回発表予想 (B)	298,200	1,400	1,800	30,220	335.57
増減額 (B - A)	3,200	2,300	2,910	30,040	—
増減率 (%)	1.1%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 2 月期)	322,251	24	568	4,016	45.75

## 2. 修正の理由

個別業績に関しましては、第 4 四半期は営業黒字を達成する見込みとなり回復基調にあります。しかしながら、通期の個別業績予想に関しましては、当社主力地域である九州地区における家電量販店業界の競争が激化する中、お客様のニーズを的確に捉えた営業戦略や競合戦略といった構造的課題への取り組みが遅れたことや、不正郵便問題により顧客からの信頼が低下したこと等による上期の営業赤字を補うまでには回復いたしませんでした。

また、連結業績に関しましては、当社連結子会社であるさくらやの業績改善が遅れ、営業赤字が継続していることから、さくらや事業の撤退及び清算を決定し、必要な会計処理を実施いたしました。

更に、業績改善に向けた抜本的な事業再構築計画を策定し、現段階の最善の予測に基づく事業再構築に要する費用を含めて平成 22 年 2 月期第 3 四半期連結会計期間において約 195 億円の特別損失を計上しております（平成 22 年 2 月期連結会計期間の予想特別損失は約 220 億円となります）。

以上のことから、連結及び個別業績予想は、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益が前回予想を下回る見通しとなりましたので、業績予想を修正いたします。

なお、事業再構築計画につきましては、平成 22 年 1 月 12 日付「事業再構築計画策定に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 3. 特別損失の計上について

当社および連結子会社は、平成 22 年 2 月期第 3 四半期連結会計期間において、現段階の最善の予測に基づく事業再構築に要する費用（不採算店舗の閉鎖、人事組織の見直し、不稼動不動産の処分、さくらや事業の撤退及び清算等にかかる費用）を含めて約 195 億円の特別損失を計上しております（平成 22 年 2 月期連結会計期間の予想特別損失は約 220 億円となります）。

## 4. 平成 22 年 2 月期の期末配当予想の修正について

基準日	1 株当たり配当金 (円)		
	中間期末	期末	年間
前回予想 (平成 21 年 10 月 14 日)	—	15.00	15.00
今回修正予想	—	0.00	0.00
当期実績	—		
前期 (平成 21 年 2 月期) 実績	—	15.00	15.00

## 5. 配当予想の修正理由

当社グループは業績に応じた適正・妥当な利益配分を第一に長期的な経営基盤と財務の健全性の確保を考慮の上、財務体質の改善強化を図りつつ、適正な配当を株主の皆様へ行うことを基本方針としております。

しかしながら、平成 22 年 2 月期におきまして、上記の通り連結当期純損失が約 301 億円となる見込みとなったことから、当面は財務基盤の強化が最優先課題であると考え、誠に遺憾ではありますが平成 22 年 2 月期の期末予想配当を無配に修正させていただきます。

株主の皆様におかれましては、ご理解、ご了承の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

※上記の予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。  
実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

以 上